

キタキチョウの越冬の様子

島岡 優¹⁾

【はじめに】

キタキチョウは本州～九州でもっともよく見られるチョウのひとつである。また成虫で越冬することが知られている（工藤，2022）。

今回、筆者は冬季に有馬富士公園（兵庫県三田市大原）でキタキチョウを見つけ、越冬中の様子を観察し、また自宅に持ち帰り飼育観察したので報告する。

【発見した場所の環境】

発見した場所は公園内にある棚田の西向きの斜面。アザミ、ヨモギ、チガヤ、スイバ、カラスノエンドウ、セイタカアワダチソウ、ヒメオドリコソウ、ササ科などの植物が生えている（図 3）。また斜面の下には溝がある。斜面の南側には間に歩道を挟んで福島大池がある（図 1）。

【発見した時の様子】

筆者は 2023 年 1 月 1 日有馬富士公園にて散歩をしていた際、キタキチョウを 1 頭発見した。近くをよく探すとさらに 9 頭発見した。発見した 10 頭のうちオスは 2 頭であった。また 4 頭は動いたので生きていたとわかったが、2 頭は死んでいるかどうかわからなかった。

死んでいる個体も合わせた計 10 頭を持ち帰り観察を行った。



図 1 1 番～ 17 番を見つけた場所

表 1 発見した時の様子

番号	雌雄	季節型	生死	複眼の色	発見した時の様子
1 番	メス	秋型	×	—	溝に落ちていた。翅 4 枚のみで体はなし。
2 番	メス	秋型	×	小豆色	草原の地面に落ちて、ひっくり返っていた。
3 番	メス	秋型	×	小豆色	草原の草の上に落ちていた。
4 番	メス	秋型	×	小豆色	草原の草にひっかかっていた。
5 番	メス	秋型	○	黄緑色	草原のヨモギに止まっていた。
6 番	メス	秋型	○	黄緑色	溝の淵のスイバに止まっていた。
7 番	メス	秋型	○	黄緑色	溝の淵の枯れ草に止まっていた。
8 番	オス	中間型	△	黄土色	草原の草にひっかかっていた。死んでいるかわからない。
9 番	オス	中間型	○	黄緑色	草原の地面に落ち、翅が濡れていた。足が少し動いた。
10 番	メス	秋型	△	黄土色	草原の草にひっかかっていた。死んでいるかわからない。

○：生きている
△：死んでいるかわからない
×：死んでいる

¹⁾ Yu SHIMAOKA NPO 法人こどもとむしの会



1 番



2 番



3 番



4 番



5 番



6 番



7 番



8 番



9 番



10 番



11 番 (1 月 5 日発見)



12 番 (1 月 5 日発見)



13 番 (1 月 5 日発見)



14 番 (1 月 9 日発見)



15 番 (1 月 9 日発見)



16 番 (1 月 9 日発見)



17 番 (1 月 22 日発見)

図 2 1 番～17 番を発見した時の写真
1 番～10 番は 1 月 1 日に発見後、持ち帰り観察を行った個体。
11 番から 17 番は別日に同所で発見した個体。



オオイヌノフグリ



カラスノエンドウ



スイバ



セイタカアワダチソウ



アザミ類



ヒメオドリコソウ



ヨモギ



ヒガンバナ



ササ科の一種

図3 1番～17番を見つけた場所にあった植物

【観察の記録】

発見した順に番号を翅に書き、発見してから3日後、1週間後、1か月後に変化した個体を記録した（表2）。飼育環境は、温度 約 20℃ 湿度 約 50%の室内。エサはペットボトルのキャップにティッシュペーパーを詰めて、そこにアクエリアスやぶどうジュースをしみこませ、朝夕に1回ずつ与えた（図4）。自ら飲みに来ない個体は誘導した。かごの大きさは45cm × 30cm × 60cm。

【その後】

その後も筆者は何度か同じ場所を観察しに行った。1月5日に3頭（1頭死んでいた）、1月9日に3頭（全て生きていた）、1月22日に1頭（生きていた）発見した（図2-11番～17番）。

そして、5番は2月22日に死んでしまった。

【考察】

キタキチョウの越冬場所は、イネ科やササ科の植物だけがたくさんある場所ではなく、いろいろな植物が生えている場所にいた。その理由として、いろいろな植物が生えることで、キタキチョウが入りやすく、止まりやすくなるからだと思う。そして1月中に発見した17頭のうち発見時に7頭が死んでいたもので、越冬できる数は少ないのかもしれない。今後、キタキチョウは、どのぐらいの寒さまで耐えられるか観察したい。そして、飼育はもっと長生きできるように工夫したいと思う。

【謝辞】

執筆を薦めてくださった久保弘幸氏、八木剛氏、この原稿を書くのにご指導くださった池田大氏に厚く御礼申し上げます。

【引用文献】

工藤誠也, 2022. キタキチョウ. 昆虫新版 学研の図鑑 LIVE (丸山宗利 総監修), p.201. 学研プラス



図4 飼育環境

表2 観察の記録

番号	発見時	3日後	1週間後	1ヶ月後	死んだ日
1番	×	×	×	×	?
2番	×	×	×	×	?
3番	×	×	×	×	?
4番	×	×	×	×	?
5番	○	○	○	○	2月22日
6番	○	○	○	×	1月22日
7番	○	○	○	×	1月18日
8番	△	×	×	×	?
9番	○	○	○	×	1月12日
10番	△	×	×	×	?

○：生きている
△：死んでいるかわからない
×：死んでいる